



自家製野菜をメニューに加えた本格的な月替わりランチも魅力

当別町共生型 コミュニティ農園

ぺこぺこのはたけ

ボランティアの方と共に

昨年11月 オープンの「コミュニティ農園」は、障がいを持った方の就労の場であると共に、子どもからお年寄りまで誰もが利用できる、地域交流の拠点を目指しています。ゆうゆうのスタッフ並びに、地域ボランティアの方が力を出し合う新しい形の集いの場に、注目が集まっています。

地域

住民の方がボランティアとして、毎月イベントが行われています。メンバーは地域の農家の方や団塊の世代の男性が中心で約20名が登録してくださっています。その名も「ぺこちゃんサポートクラブ」。みなさんは畑作業やイベントの実施などを通し、子どもたちや障がいのあるスタッフとともに体を動かすことで、とても生き生きとし

て参加していただきます。今年はどうきび、人参、なす、トマト、ねぎなど作りやすいものから挑戦し、この食材をレストランメニューに取り入れる他、イベント等でも使用していきたいです。レストランではプロの調理師の方が加わることで本格的な味を楽しんで貰いたいし、ここで就労するスタッフも、自ら調理できるよう腕を磨いています。今年の目標はまず、ぺこぺこのはたけを知ってもらうために周知活動に力を入れていきたいです。(スタッフ安澤理恵さん)

地産

地消のメニューを作ろうというのがこの店の魅力です。和食をコンセプトにみんなが自信を持ってお届けできる看板メニューも考案中です。料理や会話を目当てに、おじいさんとお孫さんが一緒に来るようなふれあいの店が目標です。(調

理スタッフ) 調理スタッフとして就労活動に取り組む池田友洋さんは、この春、学校を卒業してここに就職しました。「周りの方がとても明るいので楽しく働いています。」と話していました。

土間

もあってフリースペースとして利用できます。サポートクラブが毎月企画する「いろり会」は誰でも参加できる内容で、例えば5月のイベントでは、参加費200円で山菜おこわおむすび作りを行います。皆さん一度「ぺこぺこのはたけ」に足を運んでみてください。

場所：西当別小学校西となり
レストランのメニューは月替わりで700円。ランチは11時30分～14時(無くなり次第終了)。次回のいろり会は6月23日(土)。問合せは(担当)菅原27-6440まで(5月11日取材)。